

海難防止「全道大会」で長期漁業就業研修の指導者を募集

北海道の漁業就業者については、その高齢化と減少傾向が問題になっています。将来的には地域の崩壊さえ危惧されます。そのため、当協議会では地域の担い手不足を解消するため平成 21 年度から漁業就業のための長期実地研修を実施しています。年間 20 人前後の研修生を受け入れています。まだまだ足りない状況です。さらに、研修生を増加させたいと考えていますが、そのためには研修指導してくれる漁業者も増やす必要があります。

そこで、今年度も多くの漁業者が集まる「海難防止・水難救済センター・全道大会（増毛港で 6 月 26 日に開催）」で研修事業の周知と指導者募集の PR を行いました。全道大会が開催された留萌地域では、すでに多くの一般の人が研修事業を活用して漁業に就業していますが、さらに指導漁業者を増やすため研修事業の PR に努めました。ブースには根室漁協、サロマ湖養殖漁協、地元の新星マリン漁協及び天塩町町長の方々がみえられ、研修事業に興味を示してくれました。



↑ 出展ブース

↓ 全道大会参加者

